

# 2018年東京都企業秋季企業大会

## 準決勝 対鷺宮製作所戦 3投手継投で勝利 決勝へ

先発 玉熊投手 6回(4失点) 2番手三宮投手(7回 1イニング 1失点) 3番手 ベテラン古田投手(8・9回 2イニング 1失点)の頑張りで決勝戦へ進出//

## 4番大野選手 2回先頭打者先制ホームラン



先発玉熊投手



2番手三宮投手



ストッパー・ベテラン古田投手



2回裏先制ホームラン大野選手ホームイン



ゲームセット挨拶の成島監督



勝利のスコアボード

本年度都市対抗東京都第一代表の鷺宮製作所との準決勝戦//都市対抗野球東京都予選の雪辱を賭けた戦いに先発の玉熊投手は5回まで被安打3と好投するも6回に2安打1四球で2死後6番打者に満塁ホームランを浴び4失点。

7回2番手三宮投手登板するも先頭打者に2塁打撃たれ2つの外野に犠打フライで1失点。8回からベテラン古田投手が登板、先頭打者にセンター前に運ばれ犠打とタイムリーで1失点の1点差に追い込まれるも9回1死後レフト前に運ばたが後続を内野ゴロに最後は2死1塁から盗塁を企てるも2番手捕手尾嶋選が見事な送球で1塁ランナーを刺しげーセットとなり決勝進出を果たした。

打撃陣は2回先頭打者4番大野選手がレフトスタンドへ先制ホームラン。3回1死後木田選手センター前クリーンヒット、相手エラー後盗塁、2番宮川選手のタイムリー、3番佐藤選手の右中間3塁打で3点獲得はお見事でした。4回2死ランナー無しから8番吉田選手の左中間3塁打とバッテリーエラーで追加点(4点目)6回満塁ホームランの後大野選手センター前クリーンヒット犠打で1死2塁6番DH竹内選手ライト前ヒット1死3・1塁から7番泉澤選手左中間へ2点タイムリー2塁打・8番吉田選手ライト前ヒットで1死3塁・1塁のチャンスを後続が抑えられる。7~8回抑えられ追加点無し。ヒット数は明治安田・鷺宮製作所の10本に対し、明治安田の攻撃陣は効率よく攻め立て勝利を勝ち取った

今日の試合で2回・8回のセカンド新城選手のファイブブレイと3回の吉田選手のプレーは今日の勝利に大きく貢献した。いずれもヒット性の当たりを防御した。

四死球	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
安打	0	1	1	1	0	3	1	2	1	10
鷺宮製作所	0	0	0	0	0	4	1	1	0	6
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	1	3	1	0	2	0	0	x	7
四死球	0	0	0	0	0	0	0	1		1
安打	0	1	3	1	0	4	0	1		10

明治安田生命バッテリー(敬称省略)

玉熊6イニング(4失点)・三宮1イニング(1失点)・古田2イニング(1失点)・・・道端・手嶋

本塁打 大野選手(ソロ・明治安田) 保戸田選手(満塁・鷺宮製作所)

三塁打 佐藤選手(明治安田)・吉田選手(明治安田)

二塁打 泉澤選手(明治安田)・長澤選手(鷺宮製作所)

2018年10月9日

土田唯雄